

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ごみ処理手数料(証紙)徴収事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业		区分	非選択的の事務事業					
事業期間	2002(H14)年度		年度	~	年度まで						
根拠法令等	枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例、枚方市証紙条例										
関係補助金名称						サンセット					
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	粗大ごみ等を排出する市民									
	サブターゲット	家庭系のごみ処理手数料の証紙販売等を行う事業者(売りさばき人)									
	ターゲットが抱える課題	市民は証紙を購入し、粗大ごみ等を適正に排出する必要がある。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民が粗大ごみ等を適正かつ円滑に排出している。										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 粗大ごみ等の処理に係る手数料を徴収する証紙の販売・管理を行う。 証紙を販売する売りさばき人の指定等を行う。 										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					粗大ごみ等の処理に係る証紙を過不足なく徴収することにより、市民が粗大ごみ等を適正かつ円滑に排出できている。				売りさばき人の指定等を行い、粗大ごみ等の処理に係る手数料(証紙)の徴収を行う。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				証紙販売数				販売箇所					
	単位				単位 枚				単位 箇所					
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)						80,000	80,000	80,000	80,000	153	153	153	153
	実績						99,806	91,175			149	145		
達成度				86%				95%						
分析				指標の未達成は、新型コロナウイルスの蔓延による自宅待機に伴うごみ排出需要の増加が推察される。				市民が過度な負担(販売店までの距離など)無く、証紙が買える環境を整えていく必要がある。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,017	2,881	3,929		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,017	2,881	3,929		
	物件費計	5,799	4,968	5,277	4,860	109%
	歳出計	13,816	7,849	9,206		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	298,310	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	298,310	0	0
	一般財源	13,816	▲ 293,342	5,277	4,860	

5. 総括的分析

総括的分析
 ・売りさばき人を指定し、証紙を販売することにより、粗大ごみ等の処理に係る手数料を徴収した。
 300円券:56,721枚、600円券:34,454枚

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	塵芥処理手数料を枚方市証紙で徴収することにより、ごみの排出者責任と応益負担の考え方を担保する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	事業系ごみ減量及び適正処理推進事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名		25-1.ごみ総量の削減と資源化の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	月平均2.5トン以上の一般廃棄物を排出する事業者(行政を含む)			
	サブターゲット	一般廃棄物を排出する事業者(行政を含む)			
	ターゲットが抱える課題	一般廃棄物を排出する事業者は、減量及び適正処理を実施する必要がある。 一般廃棄物を排出する事業者は、ごみ処理手数料を適切に負担する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	一般廃棄物を排出する事業者が、減量及び適正処理を実施している。 一般廃棄物を排出する事業者が、ごみ処理手数料を適切に負担している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物を排出する事業者に減量及び適正処理の指導を行う。 事業系ごみ処理手数料の見直しを行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
		一般廃棄物を排出する事業者が、減量及び適正処理を実施している。				事業系一般廃棄物減量等計画書等の結果により、必要に応じて、事業所に対し立入調査等を実施する。				事業系一般廃棄物を排出する対象の事業所に対し、事業系一般廃棄物減量等計画書の提出及び一般廃棄物管理責任者の選任を求める。			
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
指標説明		事業系一般廃棄物搬入量				事業所への立入調査件数				事業系一般廃棄物減量等計画書提出数			
		単位		トン		単位		件		単位		件	
指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	32,336	32,148	31,960	31,771	25	25	25	25	76	76	76	76
達成度		111%				128%				104%			
分析		コロナ禍の影響により、想定よりも事業系一般廃棄物搬入量は減少した。				コロナ禍の状況を踏まえ、病院や福祉施設への立入を控えたことにより、想定よりも件数が少なくなった。				コロナ禍の影響により、月2.5トン以上の一般廃棄物を排出する事業所が減少したため、想定よりも計画書の提出数が少なくなった。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,017	6,380	6,286		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,017	6,380	6,286		
	物件費計	3,014	4,131	4,618	5,001	92%
	歳出計	11,031	10,511	10,904		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	11,031	4,131	4,618	5,001	

5. 総括的分析

総括的分析 月平均2.5トン以上の一般廃棄物を排出する多量排出事業者に対して一般廃棄物管理責任者の選任及び事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を求め、当該事業所への立入指導を実施するとともに、分別排出のチラシを作成・配布するなど、事業者にごみの減量・リサイクルの促進する取り組みを行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、一般廃棄物の排出事業者へ減量及び適正処理の指導を行うとともに、事業系ごみ処理手数料の改定に向けた検討を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	北河内4市リサイクル施設組合負担金交付事業										
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部			課	循環型社会推進課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		非選択的事業			区分		非選択的事務事業	
事業期間	2001(H13)年度				年度	～				年度まで	
根拠法令等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、北河内4市リサイクル施設組合格約										
関係補助金名称								サンセット			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		枚方市・寝屋川市・四條畷市・交野市で設立した北河内4市リサイクル施設組合								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理する必要がある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理している。										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、北河内4市(枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市)で設立した北河内4市リサイクル施設組合で、ペットボトル・プラスチック製容器包装の中間処理を行っている。 北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、北河内4市リサイクル施設組合格約に基づく応分の負担金を交付している。 										

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						適正な運営により、北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理している。				北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、応分の負担金を交付する。			
指標説明						ペットボトル・プラスチック製容器包装のリサイクル率 【算出式:リサイクルした量/中間処理量×100】				負担金の交付回数			
指標種類		単位				単位				単位			
指標設定		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100	100	100	100	4	4	4	4
達成度						100%				100%			
分析						リサイクルを適正に行うことができた。				第1期から第3期までは負担金を交付したが、第4期は還付が行われた。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	401	0	2,357		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	401	0	2,357		
	物件費計	165,756	167,773	174,252	180,331	97%
	歳出計	166,157	167,773	176,609		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	166,157	167,773	174,252	180,331	

5. 総括的分析

総括的分析 北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、北河内4市リサイクル施設組合規約に基づく応分の負担金を交付するとともに、職員1名を派遣し、北河内4市リサイクルプラザ(かざぐるま)でペットボトル・プラスチック製容器包装の中間処理が適正に行われ、リサイクルを推進することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	北河内4市リサイクルプラザ(かざぐるま)の適正かつ効率的な運営のために、引き続き北河内4市リサイクル施設組合に職員1名を派遣し、北河内4市リサイクル施設組合規約に基づく負担金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部清掃工場建設工事関連事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部				課	循環型社会推進課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業					
事業期間	2008(H20)年度				年度	~	年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称											サンセット	-
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		東部清掃工場の都市計画決定区域内の地権者									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		都市計画決定区域において、用地買収を円滑に進めることが出来ない。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	都市計画区域の全てを買収できている状態。											
事業概要	1. 未買収用地の境界確定業務を行う。 2. 都市計画決定区域である東部清掃工場未買収用地の取得を行う。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		都市計画区域の全ての用地が買収できている。				未買収用地の取得により、都市計画決定区域における取得済用地の面積が増える。				境界画定業務等により、都市計画決定区域である東部清掃工場未買収用地の取得を実施する。			
指標説明		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
指標説明		用地取得率 【算出式: 取得済面積/取得予定面積×100】				用地取得済み面積				単年度取得予定面積			
		単位		%		単位		㎡		単位		㎡	
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	81	90	96	100	23,732	26,254	28,127	29,250	3,300	2,522	1,873	1,123
達成度		87%				78%				0%			
分析		未買収用地(交渉困難地)について関係各部署との協議・調整を行っている。				未買収用地(交渉困難地)について関係各部署との協議・調整を行っている。				未買収用地(交渉困難地)について関係各部署との協議・調整を行っている。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,220	9,171	4,714		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	9,220	9,171	4,714		
	物件費計	0	0	232,692	232,693	100%
	歳出計	9,220	9,171	237,406		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	9,220	0	232,692	232,693	

5. 総括的分析

総括的分析	東部清掃工場は、都市計画事業として平成15年に事業認可を受け、都市計画面積約8haのうち、約5haを取得後、焼却施設は平成20年度に、粗大ごみ破碎処理施設は平成24年度に完成し、現在に至っている。未買収用地3haについては、緩衝緑地として引き続き取得し、緑被率6割(環境影響評価)以上を確保する。なお、令和2年2月に事業認可の延伸を行い、令和5年度末までとなった。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	残りの用地についても、用地課と連携を図りながら事業認可期間中の買収に向けて引き続き地権者の理解と協力を得られるよう努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	氷室地域都市基盤整備事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1999(H11)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	氷室地域の各自治会及び住民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	氷室地域の里山保全、農業振興、道路交通対策など整備に関する様々な課題に対して、地域住民は行政の協力を必要としている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	地域と行政が連携して課題に取り組み、整備が充実している状態。				
事業概要	氷室地域の各自治会の要望(支援要請)の窓口として地元並びに庁内関係課と協議調整を行うとともに、氷室地域の都市基盤整備の充実のため支援を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	地域と行政が連携して課題に取り組み、整備が充実している。				アウトプット(活動結果)	各種要望や支援要請に対し、適切に対応する。				インプット(活動)	氷室地域の各自治会の要望(支援要請)を受け付ける。			
	指標説明	地元支援要請対応の引継率 【算出式: 担当部局への引継数 / 地元支援要請資料作成数×100】				アウトプット(活動結果)	現地調査資料を担当部局に引き継いだ件数				インプット(活動)	支援要請の把握・現地調査資料の作成件数			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	100	100	100	100	10	10	10	10	10	10	10	10		
	実績	100	100			34	26			34	26				
	達成度	100%				100%				100%					
分析	氷室地域の地元要望に対して窓口となり、地元と庁内関係課との協議調整等連携に努めた。				氷室地域の地元要望に対して窓口となり、地元と庁内関係課との協議調整等連携に努めた。				尊延寺21件、穂谷3件【災害】穂谷1件【調査】尊延寺1件						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,422	10,368	4,714		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	10,422	10,368	4,714		
	物件費計	0	0	0	2	—
	歳出計	10,422	10,918	4,714		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	10,422	550	0	2	

5. 総括的分析

総括的分析 氷室地域において自然と人との共生を図るため、氷室地域等住み良い環境整備基金を設置してきたが、平成26年度公約施策である土砂防災に対する防災機能を備えた新たな地域活動拠点である尊延寺区新自治会館の建設に同基金を活用し支援したことにより同基金については平成28年度末で廃止となった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	氷室地域の地元要望に対して、地元自治会及び市内関係課と協議を行いながら都市基盤整備の充実を目指す。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	一般廃棄物処理計画推進事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称	枚方市廃棄物減量等推進審議会				
事業対象	メインターゲット	廃棄物行政を担う職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	一般廃棄物の減量及び適正処理を推進する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般廃棄物の減量及び適正処理が行われている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理基本計画や災害廃棄物処理計画などの策定・見直しを行うとともに、各種計画に基づく取り組みの進捗管理を行う。 枚方市廃棄物減量等推進審議会の運営を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
							「一般廃棄物処理計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「一般廃棄物処理計画」に係る各種事務が推進される。			
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明						一般廃棄物処理実施計画に記載している主な取り組みの実施率 【算出式: 実施した主な取り組みの件数 / 一般廃棄物処理実施計画に記載している主な取り組みの件数 × 100】				一般廃棄物処理実施計画掲載の主な取り組み件数			
	指標種類	単位					単位				単位			
		増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	達成度						100%				116%			
分析						一般廃棄物処理実施計画に記載している主な取り組みに基づき実施した。				想定よりも主な取り組み件数が多くなった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	17.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	17,777	0	19,643		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	380	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	561		
		人件費計	18,157	0	20,204		
	物件費計	7,904	0	3,388	3,695	92%	
歳出計		26,061	0	23,592			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	2,280	0	0	0		
	歳入計	2,280	0	0	0		
一般財源		23,781	0	3,388	3,695		

5. 総括的分析

総括的分析 一般廃棄物処理基本計画の見直しについて、廃棄物減量等推進審議会に諮問を行い、審議・検討をしていただき、同審議会からの答申を踏まえ、一般廃棄物処理基本計画を改定した。
 廃棄物減量等推進審議会において、一般廃棄物処理実施計画に基づく主な取り組みを適宜報告し、委員からの意見等を踏まえ、今後の取り組みを進めるなど、ごみの減量・リサイクル及び適正処理に関する取り組みを推進した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、一般廃棄物の減量及び適正な処理を推進するために一般廃棄物処理計画に基づく取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方京田辺環境施設組合負担金交付事業										
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部			課	循環型社会推進課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	非選択的的事业			区分	非選択的の事務事業			
事業期間	2016(H28)年度			年度	~			年度まで			
根拠法令等	枚方京田辺環境施設組合規約										
関係補助金名称							サンセット			-	
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	枚方市・京田辺市で設立した枚方京田辺環境施設組合									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	可燃ごみ広域処理施設の整備を円滑に推進する必要がある。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	可燃ごみ広域処理施設が稼働している。										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している穂谷川清掃工場第3プラントと京田辺市甘南備園焼却施設の後継施設について、枚方市と京田辺市が枚方京田辺環境施設組合を設立し、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を行う。 ・枚方京田辺環境施設組合の適正な運営と施設の整備を行うため、枚方京田辺環境施設組合規約に基づく応分の負担金を交付している。 										

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						負担金の交付により、可燃ごみ広域処理施設の整備が進められている。				枚方京田辺環境施設組合の適正な運営と施設の整備を行うため、応分の負担金を交付する。			
指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					44	56	67	78	4	4	4	4
	実績					44	56			4	4		
	達成度					100%				100%			
分析						令和7年度末の稼働に向けて、可燃ごみ広域処理施設の整備が進められた。				負担金の交付について想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,822	0	6,286		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,822	0	6,286		
	物件費計	82,660	81,435	72,564	78,004	93%
	歳出計	84,482	81,435	78,850		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	12,600	6,000	2,200	6,000	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	12,600	6,000	2,200	6,000
	一般財源	71,882	75,435	70,364	72,004	

5. 総括的分析

総括的分析	京田辺市及び枚方京田辺環境施設組合と定期的に会議を開催するとともに、京田辺市と両市長協議を行うなど、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備を進めた。
-------	-------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	京田辺市及び枚方京田辺環境施設組合と連携し、令和7年度の稼働を目指して可燃ごみ広域処理施設の整備を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														循環型社会推進課運営事務													
測定年度				2021(R3)年度				部		環境部				課		循環型社会推進課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		9.施策体系外																							
		施策目標		99.施策体系外																							
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		内部管理				特性				庶務的事務				区分		庶務的内部管理事務											
事業期間		不明				年度		~		年度まで																	
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称												サンセット															
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		課職員																							
		サブターゲット																									
		ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		循環型社会推進課内の所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する																									
事業概要		部の職員の安全衛生及び公務災害の事務処理の総括、室の職員の福利厚生に係る調整、課の文書管理、物品管理、予算編成・決算管理等並びに給与・休暇等の事務処理を行う。 行政財産及び基金の管理を行う。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		指標説明		単位		単位		単位																			
		指標種類																									
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5												
		目標(見込み)																									
		実績																									
達成度																											
分析																											

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	2.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	22,785		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	22,785		
	物件費計	-	-	76,567	79,854	96%
	歳出計	-	-	99,352		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	2	1	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	1,203	1,708	
		歳入計	-	-	1,205	1,709
	一般財源	-	-	75,362	78,145	

5. 総括的分析

総括的分析 課係る運営・調整・庶務事務などを、効率的かつ円滑に行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、今後も効率的かつ円滑な課の運営を図る。